

凡例 ■・・・委員の発言概要 □・・・部会でのまとめ暫定案

那覇市総合計画審議会 第1回産業・観光・情報専門部会の概要

当部会で審議する施策は、30～40の11本となっている。今回は、30～38までの審議を行った。

次回は、39～40の審議とさらに議論の深掘りを行う。

30 国際化に対応した観光環境の整備されたまちをつくる

- Wi-Fi環境の整備については、那覇市のみの視点になっており、インバウンドの視点から県全体での環境整備が必要ではないか。
- 観光環境の整備には、バリアフリーの視点が必要である。
- インバウンドへの災害対策（サイネージ等）など施策間に横串を通すことが必要である。
- 福祉、防災、インフラ整備など様々な行政分野において、部門間の連携を図り、市民だけでなく、観光客や来訪者を対象とした施策が必要である。
- 観光客と市民とのふれあいを通して、リピーターを確保するためにも、市民としてどうかかわれるかという視点があると良い。

31 那覇らしい観光資源の発掘・創造と魅力のあるまちをつくる

- 継承される伝統文化に「空手」をキーワードとして入れてもらいたい。
- 県立武道館、沖宮の前の碑など那覇市としての情報発信にも取り組んでももらいたい。
- 指標が対象としているもの等を含め妥当性を検討したい。
- 「まぐろ」のプロモーションには、県の施策と連携して取り組んでももらいたい。

32 戦略的産業及び新たな産業の振興により稼げるまちをつくる

- 戦略的産業には観光産業も含まれているため、施策31の指標として掲げている観光収入を指標として再掲することを検討してもらいたい。
- 指標の基準年度を2014年度としているが、最新の数値を採用すべきである。
- 企業誘致で外から呼び込むだけでなく、内発的に産業を発展させる視点も大切ではないか。
- 「3 那覇空港第二滑走路増設による経済活性化」の説明が総論となっているため、取り組みの方針を具体的にイメージできる表現に修正した方が良い。
- 「IT創造館における」とあるが、同施設は既にフル稼働状態となっているため、メカル45の活用も念頭に置いて「IT創造館をはじめとした」という表現に修正した方が良い。
- 「稼げるまち」は、那覇市の風格が失われるという意見がある半面、行政の意識が雇用の確保や人材開発といった市民所得を向上させるという方向に変わってきていると評価できる一面もある。国の施策とも連動している。
- 那覇市が稼げるまちに近付いているか、市民所得を向上させることができたかが図れる指標を設定すべきではないか。

33 商工業が発展するまちをつくる

- 取り組みの柱が7つに対し、指標の設定が1つであるため、複数の指標設定が望ましい。例えば、開業率や廃業率など。
- 後継者の育成・確保のほかに「事業承継」をキーワードとして入れてもらいたい。
- 「伝統的工芸産業」に泡盛も含めて考え、表現の修正と指標の設定を検討してもらいたい。

34 農水産業が生き活きとしたまちをつくる

- 市内専業農家などのデータを把握したうえで、新規就農者を増やす取り組みが必要ではないか。
- ハーブの生産が盛んという印象がある。販路を開拓することで、所得も向上するのではないか。
- 観光産業との連携から亜熱帯の野菜や花の栽培に力をいれると良いのではないか。
- 新規就農者の支援と言っても市内には農地がほとんどないため、どこに就農する人を支援するのか。
- 市内には、就農希望者はいるが農地はない、市外には、農地はあるが就農希望者がいない状況があるため、近隣市町村と連携して農業の振興を図るような那覇市の特徴がみえるように表現を修正してもらいたい。
- 泊漁港の再整備は、実現性はあるのか。
- 「マグロ」と「まぐろ」が混在しているため、整理が必要。

35 那覇港の物流・交流拠点機能を強化し、世界に開かれたまちをつくる

- 施策32の「那覇港総合物流センター設置による経済活性化」を再掲しても良いのではないか。
- うるま市の製造業用地も不足している状況がある。物流関連のみではなく製造業の立地も視点に入れてはどうか。

36 オープンデータが活用されるまちをつくる

- オープンデータを活用できる「人材育成」が必要ではないか。
- 「リーサス」の存在を広めることも大事であり、国から人材を派遣する制度も活用しながらスピード感を持って取り組むことが重要である。
- 「産官民学」の順序について、整理すべき、最近では、金融も含めて「産学金官」もある。
- 指標の設定について検討してもらいたい。

37 みんなが笑顔で楽しく働きやすいまちをつくる

- 介護・福祉サービスにおける雇用確保は、産業分野に分類されるのか。
- 「労働力不足」に対する取り組みも必要ではないか。指標の設定も検討してもらい

凡例 ■・・・委員の発言概要 □・・・部会でのまとめ暫定案

たい。

- 那覇市の貧困率に関するデータはあるか。また、非正規率、失業率のデータも全国や沖縄県と比較すると取り組みの方向性も明確になるのではないか。
- 非正規率の改善は、企業側の側面と労働者側の側面の両面からのアプローチが必要であり、具体的な方向性を示してもらいたい。

38 産業を支える人材が育つまちをつくる

- 「外国人材の活用の検討」とあるが、既に検討の域を出て推進する段階にあるのではないか。
- インバウンド対応だけでなく、産業全般での活用の視点が必要である。
- 高齢者雇用の推進について、那覇市で取り組んでいる事業等はあるか。
- 外国人や高齢者は既に労働力として重要な存在となっている。
- 経営人材、ミドルリーダー人材の育成に対象を絞らず全ての分野での人材育成に取り組む必要があるのではないか。柱書きの修正を検討してもらいたい。
- 障がいのある人も働きやすい環境を構築するよう福祉政策ともリンクさせて、産業振興に位置付けてもらいたい。